

平成30年12月議会定例会議案

市長提案理由説明要旨

(平成30年12月4日提出)

新潟市

1 あいさつ

このたび、新潟市長に就任させていただきました、中原八一です。

市長就任以来、新潟市政を担わせていただく責任の大きさ、重さを日々感じているところです。議会の皆さま、市民の皆さまのご協力を得て、生まれ育った新潟市のため、新潟市民のために、全力を尽くしてまいりますので、よろしくご指導をお願い申し上げます。

この12月議会定例会は、私にとって初めての議会となります。この機会に、貴重なお時間を頂戴し、私の市政運営に当たるうえで、基本的な考えを述べさせていただきます。あわせて、提案いたしました議案の概要についてご説明申し上げますので、よろしくお願いたします。

2 基本姿勢

これまで、篠田前市長は、政令指定都市の第1ステージとして、しっかりと土台を築いてくださいました。

私は、この土台を踏まえ、これからの市政を政令市の第2ステージとして、未来に向かって「全国とつながる」「世界とつながる」拠点都市・新潟を目指し、活力ある新潟市に向けた取組みを加速させていきたいと考えています。

一方で、拠点性の向上を図りながら、「都市と田園」が「共存・共栄」するまち、すなわち、都市の魅力と自然の魅力を実感し、豊かでゆとりのある生活を送ることができる新潟の実現を目指していきます。

また地域の特産物、歴史、文化、自然など、各区・各地域の特色や魅力を市民みんなで共有し、市の財産として誇りと愛着を持っていただくことが重要です。政令市の第2ステージとして、市全体の一体感を高めていきます。

さて、このたびの市長選挙を通じて、私自身も、様々な経験や、勉強をさせていただきました。市民の皆さまが不安に感じていることや、そうした不安をなくしていくことへの期待を実感することができました。

選挙期間中に、「笑顔あふれる新潟」に向けた基本政策を掲げ、市民の皆さまに訴えてきた約束を、一つ一つ着実に実現していきます。

そして、公平な市政を心掛けるとともに、市民目線を忘れることなく、議会の皆さま、市民の皆さまの声を大切に、開かれた市政運営を行ってまいります。

3 基本政策

(1) 公約の実現

新潟市の現状は、さまざまな課題があり、早期に解決していかなければなりません。

「産業の振興」では、停滞する新潟経済を活性化させるため、行政と民間が連携して、人と産業への投資を進め、経済活力を生み出していくことが求められています。

そのために、市内事業所の99%を占める中小企業の振興が重要であることから、既存産業の生産性向上など高度化を図りながら、航空機産業やIT産業など成長産業の育成を支援するとともに、現在8地区で進めている新たな工業用地の創出支援や企業誘致の強化を図り、経済活力を生み出します。

また、市内企業の大きな課題となっている人手不足や、事業承継に対応する取組みを進めるほか、企業の職場環境の改善など、働きやすい環境づくりを進め、多様性のある雇用を創出します。医療、介護、保育といった専門人材の確保や処遇改善について、国にもしっかりと働きかけていきます。

次に、日本一の水田面積をもつ本市にとって、「農業」は重要な産業であり、農家が夢と生きがいを持って農業に取り組めるよう応援します。

農業の実情は、後継者不足など様々な課題があり、取り巻く情勢は厳しいものとなっています。中国政府が新潟県産米の輸入停止措置を解除するなど明るい兆しも見えてきましたが、平成30年度からの米の需給調整に係る国の政策の大転換に、引き続きどう対応していくかが大きな課題です。

本市の農業を持続させていくため、現在の多様な米作りを応援しつつも、米に偏重している生産体制からの脱却に向けて、複合営農を推進するとともに、農産物のブランド化や6次産業化に加え、ICTなどを活用した次世代型農業を進め、「儲かる農業」を推進します。さらに、若手後継者や新規就農者を支援し、持続可能な農業を目指します。

次に、「新潟の拠点性向上」に向けては、国や県との連携を強化し、「港」、「空港」、「駅」を効果的につなぐ仕組みづくりが、大きな課題です。そのためにも、港や空港の活性化を進めるとともに、新潟の玄関口としてふさわしい新潟駅や駅周辺地域の整備を着実に推進していきます。

また、BRT・新バスシステムについては、選挙期間中、多くの皆さまから、たくさんの声をお聴きしました。

バス交通の衰退に歯止めをかける目的で導入されたバスシステムですが、今後、市民にとって、使いやすく、喜ばれる公共交通に改善していくことが必要です。

私は、市として、「これまでの計画に沿って推進」していくことから、まずは、「現在のバスシステムを改善し、市民の皆さまに丁寧に説明しながら進めていく」方向に舵を切りたいと考えています。

そのためにも、「市民にとって使いやすく、喜ばれる公共交通にしていく」という認識と、改善を行っていくという方向性を新潟交通と共有し、協議を進めていきたいと考えています。

次に、全国的に人口減少が進むなか、新潟のまちを活性化させるためには、市外や県外、さらには国外から人を呼び込み、「**交流人口**」を増やしていく必要があります。

間もなく迎える新潟開港 150 周年、その後に続く、国民文化祭、新潟県・庄内エリアデスティネーションキャンペーン、2020 年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会を、交流人口拡大の好機ととらえ、

おもてなし態勢を強化するとともに、本市ならではの魅力を打ち出していきたいと考えています。

交流の起点の1つである新潟駅がこれからの核となることから、駅周辺と万代、古町地区を結び、人の流れを循環させ、賑わいを創出します。さらに、みなとまち文化や芸妓文化、食文化など、本市独自の魅力の発信を強化するほか、県との連携により、クルーズ船の誘致やLCCなど新規航空路の開設に取り組み、国内外からの誘客を促進していきます。

次に、「**安心・安全**」の分野では、災害に強いまちづくりを進めるとともに、3.11大震災において、本市が日本最大級の救援拠点として機能した実績も踏まえ、今後想定される首都直下地震や南海トラフ地震などの太平洋側の大規模災害発生時には、本市のポテンシャルを活かし、救援拠点として機能できるよう、平時からの拠点性を強化し、防災拠点都市を確立していきます。

また、地域の安心・安全に向け、子どもの見守り活動や防犯カメラの設置を支援するとともに、防犯教育や通学路の安全対策を進め、地域の皆さまにご協力いただきながら、子ども達の安全確保を強化していきます。

次に、「**超高齢社会**」において、高齢者など誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域での居場所づくりや見守り活動を促進するとともに、支え合いの仕組みづくりを進め、地域で医療と介護が受けられる「**地域包括ケアシステム**」を構築するほか、健康寿命の延伸に向けた取り組みを推進していきます。

また、「**子どもを産み育てやすい環境づくり**」に向け、通年の待機児童ゼロを目指し、保育施設の充実や、延長保育、休日保育、病児保育など多様な保育サービスの提供に取り組みます。さらに、放課後児童クラブの整備や、子どもの貧困対策に向けた取り組みを進めるなど、安心して子どもを産み育てられる環境づくりを進めていきます。

次に、「**教育**」の分野では、英語教育、ICT教育などを推進するとともに、幼・保・小の連携や小・中学校の切れ目のない教育を進めるなど、さらなる学力の向上を目指します。

また、食育や農業体験学習といった新潟らしい教育を進め、地域への愛着や誇りをもつ子ども達を育成します。

あわせて、児童・生徒の健康と学校施設の教育環境確保のためのエアコン設置や、教員の多忙化解消に向けた取り組みを進めるなど、子ども達が健やかに育つ教育環境の整備を推進します。

こうした取り組みを進め、「住みよいまち新潟」を実現することで、人口の流出抑制と流入促進につなげ、「人口減少対策」に取り組んでいきます。

(2) 財政状況の認識と行財政改革

一方で、本市の財政は極めて厳しい状況にあると認識しています。

政令市移行時と比較して、基金残高は約 33 億円と約 10 分の 1 に減少しており、市民の皆さまからのご心配いただいています。

私は、地域経済を活性化し税収の増など歳入が増えるように取り組むとともに、行財政改革を加速し、市民の皆様からご安心いただけるよう、基金を積み増していきたいと考えています。

そのためには、今後 3 年間で集中改革期間として取り組みたいと考えています。

行財政改革の大きな柱として、事務事業の見直しをしつかりと行う必要があると考えており、社会経済情勢の変化や本市の財政状況などを踏まえ、私の視点で状況を把握したうえで、見直すべきものについては、議会の皆様、市民の皆様に丁寧にご説明をし、ご理解とご協力をいただけるように努めていきます。

4 市民・議会への呼びかけ

以上、申し上げた政策の実現に向け、すぐに取り組めるものについては動き始め、新年度予算に反映させていきたいと考えています。

80万市民の皆さまと共に、未来に向かって「全国とつながる」「世界とつながる」拠点都市・新潟を築いていきます。

以上、私の基本的な考えを申し述べさせていただきました。

円滑な市政運営は、議会の理解なくしては、望めないものと思っています。市議会の皆さまからのご意見を真摯に受けとめながら、共に市政運営を行っていきたいと考えていますので、何とぞ、ご助言、ご指導をお願いいたします。

5 議案の概要

それでは、引き続き本日提案いたしました議案の概要につきまして、説明を申し上げます。

議案第87号から第89号は、一般会計ほか2会計の補正予算です。

初めに、一般会計の主な内容について申し上げます。

まず、「アート・ミックス・ジャパン開催事業」については、来年4月の開催に向けた支援を行うものであり、

「結婚新生活支援補助金」については、多くの申請をいただき予算額が不足することから増額補正するものです。

また、「建設工事の平準化」の取り組みとしまして、「公共建築物保全適正化推進事業」及び道路関連の「平準化事業」については、来年度の工事を前倒しすることにより、工事発注の平準化を図るものです。

「しおだわらばしきょう塩俵橋かけかえ橋りょう架替事業」については、河川改修と一体的に拡幅架け替え工事を行うため、県との基本協定締結に向け債務負担行為を設定するものであり、

その他の補正としては、国・県負担金の精算に伴い、返還金を補正するものです。

次に、国民健康保険事業会計では、平成29年度からの繰越金を国保会計の財政調整基金へ積み立てるものであり、

病院事業会計では、時間外勤務手当の追給及び医療事故に係る損害賠償金についてそれぞれ補正するものです。

議案第140号から第148号までは、いずれも給与改定に関連した案件ですので、一括して説明申し上げます。

この度の改定は、一般職員などについて、本市の人事委員会勧告に基づき実施するもので、主な内容としては、俸給月額や勤勉手当の引き上げなどを行うものであり、併せて、人事異動により生じた過不足などについて調整するものです。

次に、一般議案の概要について、説明いたします。

議案第90号は、(仮称)潟東地域コミュニティセンターの整備に伴い、潟東体育館を廃止するものであり、

議案第91号は、新潟ひまわりクラブの移転に伴い、所在地を変更するものです。

議案第92号から第95号は、専門職大学等の制度創設に伴い、資格要件に関する規定を整備するものであり、

議案第 96 号は、省令の改正に伴い、

家庭的保育事業に関する規定を整備するものです。

議案第 97 号は、老人憩の家 じゅらくえん 寿楽園 を廃止するものであり、

議案第 98 号は、県の食品衛生法施行条例の改正に伴い、手数料に関する規定を整備するものです。

議案第 99 号は、消防法施行令の改正に伴い、消火器具の設置に関する規定を整理するものであり、

議案第 100 号は、公職選挙法の改正に伴い、市議会議員選挙における選挙運動用ビラに関する規定を整備するものです。

議案第 101 号は、市民病院における医療事故について、損害賠償の額を決定するものであり、

議案第 102 号は、人事委員会委員に、
再び、こだま 兒玉 たけお 武雄 氏を選任することについて、
議会の同意を得ようとするものです。

議案第 103 号は、来年度の宝くじの発売限度額を定めるものであり、

議案第104号は、「(仮称) 万代・宮浦乳児保育園及び東地域保健福祉センター建設工事」の契約の締結について、議会の議決を得ようとするものです。

議案第105号から第139号は、「東総合スポーツセンター」など197施設について、指定管理者の指定を行うものです。

諮問第3号は、人権擁護委員の候補者として、

再び、

こばやし	きみこ	やまざき	みつこ
小林	公子	山崎	光子
氏、		氏、	
たしろ	まさこ	おおたけ	まりこ
田代	優子	大竹	真理子
氏、		氏	
はやかわ	きょうこ	きむら	もとふみ
早川	京子	木村	宗文
氏、		氏	

を推薦するとともに、

新たに、

いからし	きょうこ	とみい	のぶき
五十嵐	恭子	富井	信喜
氏、		氏	
いずみ	やすのぶ	くまがい	たかお
泉	康信	熊谷	孝夫
氏、		氏	
おがわ	えいじ	いけうら	しゅうえい
小川	英爾	池浦	周英
氏、		氏	
ありた	かずまさ	まるやま	ともき
有田	一正	丸山	智生
氏、		氏	

を推薦することについて、議会にお諮りするものです。

以上、提案いたしました議案について、説明申し上げます。

よろしくご審議賜りますよう、お願い申し上げます。